発行：2020.1.1（月1回予定）

☆羅 針 盤 No.118

発行：東港金属グループ
編集：東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751
URL https://www.tokometal.co.jp/
（見学受付）
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

新年のご挨拶

東港金属グループ代表 福田 隆

謹んで新春の御祝詞を申し上げます

昨年も皆様に多大なご協力を賜り心から御礼を申し上げます。令和最初の新年を迎え、東港金属グループでは更に皆様のお役に立てるようにサーキュラーエコノミーを推進してまいりたいと存じます。

昨年の年初における当欄でお伝えしたように、中国向け固体廃棄物（再生資源）第7類の中国側の輸入停止措置の影響は大きく、廃プラスチック問題など世界的な懸案事項になっております。

弊グループでは国内処理を進めるべく、12年前に千葉工場を設立し、大型シュレッダープラントにて混合廃棄物からの資源再生事業を進めてまいりました。本年は更に処理・選別機能を高め、廃プラスチック問題の解決に向けて進めてまいる所存です。

お客様あっての東港金属ですので、本年も出来る限りのことをしてまいります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

☆羅 針 盤 鉄・非鉄スクラップ・・市況からの1月予測

営業部 Y の考察

鉄スクラップ → 考察）12月は指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格は、24,000円／トンでスタート。最終的には1,000円／トン上昇し25,000円／トン。関東鉄源協同組合が12月11日実施した12月契約の輸出入札の平均落札価格は1トン当り25,804円と、11月契約に比べ1,497円（約6％）上昇しました。前月比で上昇するのは2ヵ月連続。ベトナム等海外の輸出が好調なことから 1月もこの流れから上がると思われます。

銅 → 考察）12月はLME5,890ドル／トン、国内銅建値680,000円／トンでスタートし、米中貿易協議への警戒感および在庫減少・円安で上昇傾向に。最終的にはLME6,129ドル／トン、国内銅建値720,000円／トンまで上昇。7か月ぶりの高値を付けました。1月初旬は横ばいが続くと思われますが、本格的な製造業の需要の回復は望めないため下がると思います

アルミ → 考察）12月はLME1,760ドル／トンでスタート。月中小幅上昇が続き、最終的には1,810ドル／トンまで上昇。中国の11月の工業利益の増加及び円安が上げの要因と思われます。1月は、メーカーの購入意欲が少ないことを考えると相場は上がっても売り価格は上がらないと思われます。

プラスチック 予測つかず → 考察）12月は年末にもかかわらず受入制限をする中間処理場が増え、出し先に苦労した収集運搬会社及びエンドユーザーが多かったと思います。中間処理場は受けたくても、その先の焼却場や埋め立て場が受入制限をかけるところが多く受けたくても受けられない。また、働き方改革で人員不足になり選別ができないという状況が続きました。年明けも改善の余地は見られず、処分費の上昇及び受け入れ枠の制限等続くでしょう。また、質の悪い廃棄物の出し先はますます無くなると思われます。

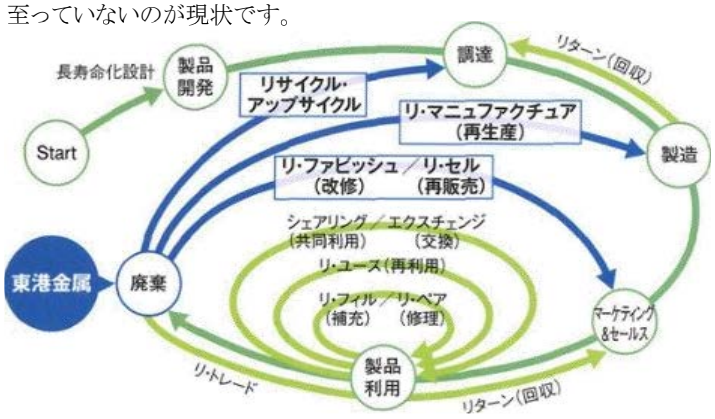
12月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	×
銅	○	プラスチック	－

☆羅 針 盤 サーキュラーエコノミー

サーキュラーエコノミーとは、再生し続ける経済環境を実現すること。製品・部品・資源を最大限に活用し、それらの価値が目減りすることなく再生・再利用し、循環し続けることです。これまでのリサイクル業では、大量消費リサイクル（下図の薄い青）の輪しか対応できていませんでしたが、今後はそれらの価値を目減りさせずに、永続的に再生、再利用、共同利用も含めた複数の輪に対応することが必要で、経済成長と環境負荷軽減の両立を可能にするものです。

地球温暖化について国連環境計画（UNEP）が昨年11月、このままだと地球に「破壊的な影響」が生じると、強い調子の警告を発する報告書を公表しました。物が動けば、必ずエネルギーが放散されます。高度成長期の、作って、使って、使用済み製品は捨てる。という観念は環境汚染の観点から、ずいぶん前に世界的に見直され、国内でも平成12年公布の循環型社会形成推進基本法のもとに資源循環推進法（3R（リデュース、リユース、リサイクル）法）や、個別リサイクル法が次々と制定され、リサイクルを推進していますが、再生し続ける経済環境の確立には至っていないのが現状です。



サーキュラーエコノミーは、そのリサイクル社会から一歩先を見つめ、使用済み製品をリペア（修理）、シェアリング（共同利用）、リ・セール（再販売）リ・マニュファクチュア（再生産）させ、永続的に循環させることを目的にしています。

廃棄物処理業界においては、IT化、そしてAIの力も利用して回収した使用済み製品の処理活用方法（手段）を精査し、その情報を動脈産業と共有し、循環活用の輪を広げます。

地球資源の使い捨てを軽減化させ、循環型社会形成に寄与しつつ、新しいビジネスを生み出す。静脈産業はそれができる業界であり、力を入れて行くことが使命でもあるでしょう。

「ガーナから来ました」

生産部：チャンバ ヤミム コンゴロ

初めまして、私の名前はChanbar Youminu Kongoro チャンバ ヤミム コンゴロです。ガーナから来ました。
ご存知ですか？ ガーナは、アフリカ西部ギニア湾に面した国です。

正式にはガーナ共和国で、首都のアクラは私が生まれた場所です。人口は約 2,880 万人です。
沢山の部族から構成されるガーナでは、80以上の言語が使われていますが公用語は英語です。今度詳しくお話します。

世界的に有名な細菌学者、野口英世博士（千円札の肖像で良くご存知でしょう）が黄熱病の研究中に病気にかかり、1928年に51才で亡くなったのが、ガーナのアクラで、博士が研究していたコレブ病院に記念館と日本庭園が残されています。日本の政府によってガーナ大学に野口英世記念研究所が設立され、今でも西アフリカ諸国のために伝染病の研究が進められています。

また、ガーナチョコレートというお菓子もあるように、ガーナはカカオの世界的な産地です。

そして、ガーナはアフリカの中でサッカーの強い国として知られています。南アフリカ共和国で開催された2010FIFAワールドカップでは、ベスト8に入りました。男の子はサッカー、女の子はバレーボールが大好きです。私もサッカーが好きで、ガーナ、そしてナイジェリアやマレーシアでサッカーの選手でしたが、24歳で日本に来ました。

日本では、東港金属に来る前に2つの会社に勤めておりました。東港金属は3番目に入社した会社です。東港金属の印象は、会社が従業員の健康や、生活の充足感を得られるように努めていると感じています。それは非常に重要だと思います。また、安全の確保にも厳しい会社であることです。そして、会社のもう1つの重要なポイントは、仕事前や仕事中仕事後のメンバー間のコミュニケーションを大事にしている事です。
バーベキュー大会や納会などのイベントを開催したり、通勤バスの提供など従業員の気持ちになって家族のように考えてくれています。
東港金属は、関係する誰もの気持ちを反映させている会社です。

ありがとうございます。またお会いしましょう。

↗ 東港金属グループでは、企業ビジョンに「サーキュラーエコノミーを体現する」事を掲げ、その一歩としてグループ会社のトライシクルが、中古機器のリユース市場開拓を進めております。ご存知メルカリの、企業向けフリマアプリ「リサコ」です。使用済みの機器（資源）を粉砕して資源にするだけではなく、B to B(法人から法人へ)販売する事業として推進しております。詳しくは次のURLでご確認ください https://resaco.id/